

建設情報分類体系と

BIMシンポジウム

主催：芝浦工業大学 S I T 総研 グローバル建築技術センター (GBTRC)
協賛：野原グループ株式会社
後援：(50音順) 国土交通省、日刊建設工業新聞社、日本建築積算協会
会場：芝浦工業大学豊洲キャンパス 交流棟 大講義室

2024.3.26

BIM CLASSIFICATION SYSTEM SYMPOSIUM

SPEAKERS 主な登壇者



GBTRCセンター長
芝浦工業大学教授

蟹澤 宏剛



GBTRC副センター長
芝浦工業大学教授

志手 一哉



千葉大学名誉教授

安藤 正雄

建物を構成する資機材、製品、部位などは、仕様、構成、コスト、修繕周期、LCA原単位など、様々な情報を持っています。それらの情報とBIMデータをつなぐことにより、設計、積算、調達、施工、監理、維持保全・運用など、建築生産プロセスの様々な業務でDXが進むと期待されています。このデータ連携のキーとなるのが分類体系です。様々なリソースで管理されている建物の情報やデータを構造的に仕分けすることで、それらに関連づけて処理しやすくなります。分類体系を理解することで、BIMを中核としたDX、企業の壁を超えたデジタル連携、新しいビジネスを生み出す可能性を秘めています。このシンポジウムでは、日本における分類体系の認識や取り組みの最前線について議論し、分類体系の意義、ワークフロー改革の可能性、共通化に向けた課題などを議論します。

PROGRAM

プログラム

<第1部：学術研究発表>

10:00～10:50 オープニング講演

「建設情報分類体系とは」

GBTRC副センター長 / 芝浦工業大学教授

志手 一哉

11:00～12:15 研究者&学生による発表

「わが国における仕様分類体系の標準化についての一考察」

-「建築工事標準分類」「共通建築コードインデックス」を事例として-

東京電機大学教授

小笠原 正豊

「米国のBIMに関連する社会システム」

-UniFormatとMasterFormatを例に-

東洋大学准教授

田澤 周平

「Uniclassを利用したBIMデータのBOMへの展開」

芝浦工業大学大学院博士(後期)課程

KIEU TRI CUONG

「英国建設産業政策における教育訓練方策に関する研究」

芝浦工業大学大学院生

森田 心

「BlenderBIMを利用したUniclassによるIFCスキーマの細分化の検証」

芝浦工業大学大学院生

一宮 蒼

12:15～13:20 休憩

<第2部：実務に向けたディスカッション>

13:20～13:30 趣旨説明

GBTRCセンター長 / 芝浦工業大学教授

蟹澤 宏剛

13:30～13:50 基調講演

「建築情報分類はいかにしてビルディング・システムになるか」

-ISO12006-2:2015、Uniclassの読解を中心に-

千葉大学名誉教授

安藤 正雄

14:00～16:00 企業による事例発表

「効率的なサプライチェーンに寄与するBIMモデルに付与するコード体系」

野原グループ(株) BuildApp 事業統括本部

神谷 友里絵

「BIM-EC コンソーシアムとUniclass」

スターツCAM(株)

三上 賢司

「BIMサプライチェーンマネジメントに向けたコード化の展開」

大和ハウス工業(株)

宮内尊彰、三上智大

「コストマネジメント視点での分類体系活用」

(公社)日本建築積算協会

森谷靖彦、村瀬弘幸、須貝成芳

16:00～17:00 パネルディスカッション

「いま、なぜ分類体系か」

モデレーター：志手 一哉

登壇者：千葉大学名誉教授 安藤正雄、
企業による事例発表者 他